

< 本会ホームページデザインコンペ入選作品 > (『建築雑誌』8月号掲載予定)

< 審査委員 >

委員長

小谷部育子 (日本女子大学教授)

委員

朝山秀一 (東京電機大学教授)

稲田達夫 (三菱地所設計技術情報部部長)

宇於崎勝也 (日本大学助教授)

加賀有津子 (大阪大学助教授)

島崎和司 (神奈川大学助教授)

高橋徹 (千葉大学助教授)

仲隆介 (京都工芸繊維大学助教授)

野城智也 (東京大学生産技術研究所教授)

渡邊朗子 (慶應義塾大学助教授)

< 審査経過 >

本会ホームページのリニューアルを目的としたデザインコンペであったが、応募作品は3点と少なく、広く関心を集められなかったのが残念であった。また、討論の結果、そのまま採用できる最優秀作品は無いことを全員一致で確認した。優秀作品については「デザイン」「使い易さ」「学会らしさ」「コンセプト」「総合」の項目で審査員が投票を行い、多くの支持が得られた2件を入選と決定した。なお、審査の過程においては応募者の氏名や所属は伏せて審査を行った。

< 入選者 >

最優秀作品

該当作品なし

優秀作品

石川博之(アイアーク)、石川優美(独立行政法人建築研究所)

寺岡善彦(九州大学大学院)

< 総評 >

今回のホームページデザインコンペでは、熱意ある提案はあったものの傑出した作品がないため、最優秀作品は見送られることになった。以下、優秀作品に選ばれた2つの作品について審査の所感を述べさせて頂く。

石川案は、トップページにコンテンツが分かりやすく並べられており、利用者がアクセスし易い構成になっている。しかしながら、文字の配置と大きさのバランス、色彩などが今一步である。また、トップページの画像について、建築学会全体のアクティビティを感じさせるものを選ぶ配慮が必要との意見が多かった。

寺岡案は、シンプルなデザインと文字のバランスの良さ、コンテンツが最上段に分かりやすく整理されている点などが評価された。しかしながら、文字以外に建築学会を感じさせるものが無く、本会のホームページとしての物足りなさが指摘された。

以上が、ホームページデザインコンペ応募作品に対する概評である。最優秀作品が残念ながら見送られた理由についてもご理解を賜れば幸いである。また、未筆ながら、作品を応募して頂いた本会会員各位に謝意を表する次第である。

なお、本会ホームページのデザインは石川案をリファインし、本年度中にリニューアルされる。

(審査委員長：小谷部育子)

優秀作品 石川博之 (アイアーク)

石川優美 (独立行政法人建築研究所)

優秀作品 寺岡善彦(九州大学大学院)

